

# 一般質問

質問議員：13名 質問数：22問

## 台風19号の被害と教訓

水野 貞幸 (みどり21)



連続した台風に怖さを感じ、河川の増水で被害も発生。国交省で堤防の強度向上策を実施。堆積土砂の除去で安心度は増したが、今回も浸水被害が発生、堤防決壊の心配もある。地域を守り、被害を発生させないよう質問する。

避難所運営は避難者が多く開設が長時間となった。地域からは施設の見直し、情報収集に関する意見が出され、検討する必要がある。風水害時にも地区防災組織と連携した避難所運営を行える体制が必要である。

黒沢川は国交省が浸水対策の調査を実施。対策予定と排水溝の位置関係から逆流が起こる防止対策は。

平成26年に総合浸水対策を策定。国・県・市の黒沢川浸水対策協議会で進捗を確認。排水ポンプ車の設置箇所の整備、調整池の設置、排水機場のポンプ運用見直し、河道掘削を実施。市は冠水注意看板の設置や土砂撤去を随時実施し、逆流防止施設の設置を検討事項として浸水対策に盛り込んでいる。

本格的な避難行動で、運営に未経験な部分が多かったのでは。傾向や対策と地区防災等の協力的体制は。

## 渋滞解消と通学路の安全確保

鈴木 直博 (みどり21)



朝夕、ホンダカーズ東交差点を先頭に、南は白岩橋南まで、東は八幡橋西(コメリ南)交差点を経由して菊川西中学校の東端まで渋滞している。これはホンダ東交差点を左折して掛川方面へ向かう車両が多いことが原因と考えられる。

とも考えられるが、東西路線のセンターがずれてしまい、新たな危険を招く等課題があり、歩道の設置は困難。

対策として、コメリ東側の歩道の一部を車道に変更して掛川方面への左折専用レーンとし、信号も菊川西中学校から八幡橋西交差点に向かって来る車両の青信号に合わせてホンダ東交差点の信号も青にする等が考えられる。公安委員会と協議する用意があるか。

菊川西中学校南の東名高速道路下にある水路に蓋をして歩道とする要望が自治会から出されているが、ネクスコ中日本との協議の状況は。

現時点では具体的な解決策を示すことは出来ないが、公安委員会のみならず周辺の企業とも意見交換をしながら、渋滞解消に向けて取り組んでいきたい。

歩道とするためには既設水路内に構造物を設ける必要がある。水路断面が狭くなり排水不良の原因になるなど課題があり、協議の予定は無い。

他に「スマートフォンと学校教育」について質問しました。

市職員・水防団の巡視や警察・市民の通報で通行止めを行った。雨量が多く状況が大きく変化するため、交通規制の時期を課題と捉え、黒沢川浸水対策協議会等で検討している。



台風19号(令和元年10月12日)時の黒沢川右岸/岳洋中学校駐車場付近

八幡橋西交差点から西側のコメリ側に歩道が設置されない理由は。

北側には民間の調整池や店舗があり、南側に幅員、拡幅するこ



東名高速道路下のトンネル(菊川西中学校南)